



# 大成っ子

さいたま市立大成小学校  
学校だより 5月号

令和5年5月8日(月)

## 躰の三原則

校長 松下 穰

入学、進級から1か月が過ぎようとしています。新緑の美しい校庭で、子どもたちは、心地よい風に包まれ、思い切り運動したり遊んだりして過ごしています。教室の様子を見ますと、元気のよい返事やはっきりとした発表の声、日ごとに力強くなってきています。「新しい年が始まったんだなあ」と、うれしく、わくわくとした気持ちでそんな様子を日々見えています。

さて、みなさんは、教育哲学者である故 森 信三（もり のぶぞう）先生が提唱する「躰（しつけ）の三原則」をご存知でしょうか。

- 1 朝、必ず親に挨拶をする子にすること
- 2 親に呼ばれたら必ず「ハイ」とはっきり返事のできる子にすること
- 3 履き物を脱いだら必ずそろえ、席を立ったら必ず椅子を入れる子にすること

「しつけ」と聞くと、堅苦しいイメージを持たれる方が多いかもしれませんが、上の3つを見ると、どれも簡単にできそうなことです。しかし、「我が家では、できていないなあ」と思われる方も多いのではないのでしょうか。小さなことですが、毎日、毎回の繰り返しです。つい、おろそかになってしまったり、忙しくて忘れてしまったりすることもあると思います。そんなときは、大人が率先してやって見せるというのがよいのではないかと思います。毎日、毎回しかるより効果的だと思います。

学校でも「挨拶」や「返事」のしっかりできる子の育成は、教育活動の柱として、発達段階に応じて一年を通して繰り返し指導しています。4月の「生活目標」も「進んであいさつをしよう」でした。

4月26日(水)の放課後、大成中学校のバスケットボール部のみなさんが6年生を教えに小学校まで来てくれました。間もなく行われる二校親善球技会に向けて練習を続けている6年生に、パスやドリブルを楽しいゲーム形式で教えてくれました。顧問の先生の指導も分かりやすく、来年から始まる「中学校生活」や「部活動」のイメージもさらによくなったのではないのでしょうか。中学校のみなさんありがとうございました。

